

# 公務員 1 年制学科

# 2022年度入学生対象 公務員1年制学科履修系統図



注意：太線は必修科目  
○の数字は単位数



教 科 目 名	公務員講座 I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Lectures about Officials I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	1 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

映像教材などを用いながら、公務員の職種や仕事の概要・心得などを学習し、合格後、自らが取り組まなければならない仕事内容などについて公務員という職業の理解をする。また、現職の公務員に來校していただきの仕事の実際や経験談などを語ってもらい公務員の心構えを整理し職業倫理観を養うことを目標とする。

[履修に必要なこと]

受講者はテレビや新聞のニュースに注意し、さまざまな社会問題に関心を持って講座に臨むこと。

[成績評価方法]

レポート提出・積極性など、平常点も加味して評価する。

[教科書]

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公務員とは	公務員の性格と種類の概要
第 2 回	国家公務員	国家公務員のいろいろ
第 3 回	〃	国家公務員の仕事
第 4 回	〃	国家公務員の試験と採用システム
第 5 回	地方公務員	地方公務員のいろいろ
第 6 回	〃	地方公務員の仕事
第 7 回	〃	地方公務員の試験と採用システム
第 8 回	公安系公務員	公安系公務員のいろいろ
第 9 回	〃	公安系公務員の仕事
第 10 回	〃	公安系公務員の試験と採用システム
第 11 回	特別職公務員	特別職公務員の仕事と採用システム
第 12 回	準公務員	準公務員のいろいろ
第 13 回	〃	準公務員の仕事と採用システム
第 14 回	求められるもの	資質と素養、心構え
第 15 回	〃	仕事の展望と可能性

教 科 目 名	公務員講座Ⅱ	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Lectures about Officials II	方法・必選	講義・選択
科・年・期	公務員1年制学科・1年・後期	単位・時間	2単位・30時間

[授業の目的・方針]

公務員の教養学習の集大成を行う。特に実社会に出るに際して公務員の業務を理解し身につけておくべきさまざまな心得や慣習などから、規則・ルール・法律などに至るまで、多方面から学習し公務員の心構えを確立する。また、時として公務員・民間企業に関わらず、OBなどの参加も仰ぎ、仕事の実際や経験談などを語ってもらう予定である。

[履修に必要なこと]

受講者はテレビや新聞のニュースに注意し、さまざまな社会問題に関心を持って講座に臨むこと。

[成績評価方法]

レポート提出・積極性など、平常点も加味して評価する。

[教科書]

必要に応じてプリントで配布。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	公的な仕事の心得	仕事の内容
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	民間の仕事の心得	仕事の内容
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	インターネット時代の心得	仕事の内容
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	〃	〃

教 科 目 名	社会科学 I	担当教師名	仙名 伸行
	Social Sciences I	方法・必選	講義・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	2 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

社会科学の主要分野である政治・経済・倫理に関わる分野を学習する。単に暗記をするだけの授業ではなく、1 次試験を突破することができ、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、日本国憲法や様々な法律を扱うため、公務員に必要な法律力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験・小テストにおいて評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 社会科学 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	民主政治の基本原則	基本的人権・権力分立・各国の政治制度
第 2 回	日本国憲法の原則	三代原則・基本的人権・新しい人権
第 3 回	国会	二院制・衆議院の優越・両院道東の権限
第 4 回	内閣・裁判所	内閣・裁判所・違憲立法審査権
第 5 回	地方自治	地方自治の本旨・自治機関
第 6 回	政党政治と選挙	政党制・選挙制度
第 7 回	国際社会と国際政治	国際法・国際平和機関・戦後国際政治
第 8 回	経済の発達	資本主義の発達・経済学の発達
第 9 回	現代の市場と企業	需要と供給・現代の市場・企業の種類
第 10 回	経済の変動	国民所得と経済成長・日本経済の発展
第 11 回	金融と財政の役割	金融・財政・金融政策・財政政策
第 12 回	国際経済	貿易・国際経済の動向・地域的経済統合
第 13 回	労働関係の課題	労働基本権・労働三法
第 14 回	国民の福祉	各種社会保障制度
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	社会科学演習 I	担当教師名	仙名 伸行
	Social Sciences Exercise I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

社会科学の主要分野である政治・経済・倫理に関わる分野の問題演習をおこなう。1 次試験を突破するために、公務員試験特有の 5 択による選択式の問題を解答するコツを伝授する。自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験・小テストにおいて評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 社会科学 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	民主政治の基本原則	問題演習・解説
第 2 回	日本国憲法の原則	問題演習・解説
第 3 回	国会	問題演習・解説
第 4 回	内閣・裁判所	問題演習・解説
第 5 回	地方自治	問題演習・解説
第 6 回	政党政治と選挙	問題演習・解説
第 7 回	国際社会と国際政治	問題演習・解説
第 8 回	経済の発達	問題演習・解説
第 9 回	現代の市場と企業	問題演習・解説
第 10 回	経済の変動	問題演習・解説
第 11 回	金融と財政の役割	問題演習・解説
第 12 回	国際経済	問題演習・解説
第 13 回	労働関係の課題	問題演習・解説
第 14 回	国民の福祉	問題演習・解説
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	人文科学 I	担当教師名	仙名 伸行
	Humanities I	方法・必選	講義・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	2 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

人文科学の主要分野である地理・日本史・世界史に関わる分野を学習する。単に暗記をするだけの授業ではなく、1 次試験を突破することができ、理解し使いこなせる知識の習得を目指す。また、思想や市民運動を扱うため、社会人に必要な人としての考え方を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験・小テストにおいて評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	日本史	原始、古代
第 2 回	〃	中世
第 3 回	〃	近世
第 4 回	〃	近代・現代
第 5 回	〃	日本の文学・芸術・哲学
第 6 回	世界史	古代文明の成立
第 7 回	〃	ヨーロッパ世界の成立
第 8 回	〃	市民社会の成長
第 9 回	〃	二つの世界大戦
第 10 回	〃	世界の文学・芸術・哲学
第 11 回	地理	地形
第 12 回	〃	気候
第 13 回	〃	農業
第 14 回	〃	エネルギー資源・鉱工業
第 15 回	期末試験	



教 科 目 名	人文科学演習 I	担当教師名	仙名 伸行
	Humanities Exercise I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

人文科学の主要分野である地理・日本史・世界史に関わる分野の問題演習をおこなう。  
1 次試験を突破するために、公務員試験特有の 5 択による選択式の問題を解答するコツを伝授する。自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験・小テストにおいて評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	日本史	問題演習・解説
第 2 回	〃	問題演習・解説
第 3 回	〃	問題演習・解説
第 4 回	〃	問題演習・解説
第 5 回	〃	問題演習・解説
第 6 回	世界史	問題演習・解説
第 7 回	〃	問題演習・解説
第 8 回	〃	問題演習・解説
第 9 回	〃	問題演習・解説
第 10 回	〃	問題演習・解説
第 11 回	地理	問題演習・解説
第 12 回	〃	問題演習・解説
第 13 回	〃	問題演習・解説
第 14 回	〃	問題演習・解説
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	自然科学 I	担当教師名	福岡 坂井
	Natural Sciences I	方法・必選	講義・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	2 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

1 次試験突破のために最頻出事項に絞って授業を行う。9 月までの短期間での習得のためには学生各人の努力が欠かせないが、単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	物理, 化学	力のはたらき, 物質の構造
第 2 回	生物, 地学	細胞, 地球の大気と海洋
第 3 回	物理, 化学	力とエネルギー, 気体の法則
第 4 回	生物, 地学	生殖と発生, 地球の構造
第 5 回	物理, 化学	熱と温度・気体, 溶液の性質と化学反応
第 6 回	生物, 地学	遺伝と生物の進化, 火成岩と堆積岩
第 7 回	物理, 化学	波動, 酸・塩基・塩
第 8 回	生物, 地学	物質代謝とエネルギー代謝, 変成岩と造山運動
第 9 回	物理, 化学	電気, 酸化と還元
第 10 回	生物, 地学	生体調節とホルモン, 地球の歴史
第 11 回	物理, 化学	電気, 無機物質
第 12 回	生物, 地学	人体の構造, 地球と太陽系
第 13 回	物理, 化学	電流と磁界, 有機化合物
第 14 回	生物, 地学	生態系と生物集団, 恒星
第 15 回	期末試験	

教科目名	自然科学演習 I	担当教師名	福岡 坂井
	Exercises in Natural Sciences I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

自然科学 I の授業内容を踏まえ過去問を中心に問題演習により合格力を養う。適宜グループでの学習を行ない、グループワークや集団討論の予行演習としたい。また、学生同士が教え、教えられの双方向のアクティブラーニングを行ない、人のために動ける公務員としての資質を涵養する。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

発表・期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	過去問演習	過去問・過去の模試などを中心に演習
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	判断推理 I	担当教師名	富永 坂井
	Logical Inferences I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	4 単位・60 時間

[授業の目的・方針]

公務員試験初級レベルにおける判断推理系の問題に焦点を当てて、問題解法のために様々な問題パターンを学習し 1 次試験突破の基礎作りをする。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回	判断推理	命題と論理
第 3 回	判断推理	試合と勝敗
第 4 回	判断推理	文章問題 (図表を用いる問題)
第 5 回	判断推理	文章問題 (ウソに関する問題)
第 6 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 7 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 8 回	判断推理	順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第 10 回	空間把握	折り紙とサイコロ
第 11 回	空間把握	展開図と軌跡
第 12 回	空間把握	展開図と軌跡
第 13 回	空間把握	平面図形と立体図形
第 14 回	空間把握	投影図と回転体
第 15 回	期末試験	試験

教科目名	判断推理演習 I	担当教師名	富永 坂井
	Exercises in Logical Inferences I	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

公務員試験における判断推理系の問題に焦点を当てて、問題解法のために様々な問題パターンの解答方法を演習し 1 次試験突破の応用力を身につける。また、論理的思考回路を養い公務員としての資質を持った人材育成を目的とする。

[履修に必要なこと]

講義は、テキストに沿って解説を行うので、講義ノートを作成すること。

[成績評価方法]

成績は、レポート・期末試験の結果で評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	判断推理	集合に関する問題
第 2 回	判断推理	命題と論理
第 3 回	判断推理	試合と勝敗
第 4 回	判断推理	文章問題 (図表を用いる問題)
第 5 回	判断推理	文章問題 (ウソに関する問題)
第 6 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 7 回	判断推理	方位・位置に関する問題
第 8 回	判断推理	順序に関する問題
第 9 回	空間把握	立体の構成・切断
第 10 回	空間把握	折り紙とサイコロ
第 11 回	空間把握	展開図と軌跡
第 12 回	空間把握	展開図と軌跡
第 13 回	空間把握	平面図形と立体図形
第 14 回	空間把握	投影図と回転体
第 15 回	期末試験	試験

教 科 目 名	数学・数的推理 I	担当教師名	坂井 済
	Mathematical Inferences I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	4 単位・60 時間

[授業の目的・方針]

1 次試験突破のために最頻出事項に絞って授業を行う。9 月までの短期間での習得のためには学生各人の努力が欠かせないが、単に知識の習得に終始せず、論理的思考力を身につけ、受け答えの訓練をする意味合いもあるので、能動的な授業への参加を求める。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理 TAC 刊

[参考書]

新・初級スーパー過去問ゼミ 数的推理 実務教育出版  
基礎学力 数的処理入門 TAC

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	第 1 章	四則応用、方程式、不等式、2 次方程式
第 2 回	〃	整数・約数・倍数・剰余、約束記号、記数法
第 3 回	〃	比、混合算、売買算、増減
第 4 回	〃	速さ、旅人算
第 5 回	〃	通過算、流水算、時計算
第 6 回	〃	仕事算、ニュートン算、最大・最小
第 7 回	第 3 章	場合の数、順列
第 8 回	〃	組合せ
第 9 回	〃	確率
第 10 回	〃	順列・組合せ・確率総合演習
第 11 回	第 2 章	三角形と四角形
第 12 回	〃	三平方の定理
第 13 回	〃	面積、円
第 14 回	〃	立体図形
第 15 回	期末試験	

教科目名	数学・数的推理演習 I	担当教師名	坂井 済
	Exercises in Mathematical Inferences I	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

数学・数的推理 I の授業内容を踏まえ過去問を中心に問題演習により合格力を養う。適宜グループでの学習を行ない、グループワークや集団討論の予行演習としたい。また、学生同士が教え、教えられの双方向のアクティブラーニングを行ない、人のために動ける公務員としての資質を涵養する。

[履修に必要なこと]

毎回教科書を持参すること。毎回の授業は家庭で復習を行なうために教科書は持ち帰ること。授業でやった内容を確実に身につけるため、予習よりも復習に重きを置いて学習を進めること。

[成績評価方法]

発表・期末試験により評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数学・数的推理 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	過去問演習	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	期末試験	

教科目名	資料解釈 I	担当教師名	仙名 坂井
	Handling Data I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	2 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

資料解釈では、1 次試験突破に必要な構成比・増減率・指数・特殊なグラフといった分野を学習する。表やグラフを読みとり論理的に思考する能力を反復してトレーニングする。短時間で効率的に解答するスキルの定着を目指す。

[履修に必要なこと]

学ぶことがとても多いので、復習を翌週に残さず学習した週内に習得することが重要である。

[成績評価方法]

期末試験・小テストにおいて評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項目	内容
第 1 回	資料解釈の基礎	割合計算①
第 2 回	〃	割合計算②
第 3 回	構成比	構成比計算公式
第 4 回	〃	構成比計算公式をつかった例題
第 5 回	〃	構成比計算実践
第 6 回	〃	表グラフの特性
第 7 回	増減率	増加率の考え方
第 8 回	〃	増加率の計算
第 9 回	〃	減少率の計算
第 10 回	〃	増減混合の計算
第 11 回	指数	指数計算公式
第 12 回	〃	省略算
第 13 回	〃	指数計算実践
第 14 回	特殊なグラフ	産業別人口構成図の見方
第 15 回	期末試験	



教科目名	資料解釈演習 I	担当教師名	仙名 坂井
	Exercises in Handling Data I	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

資料解釈の主要分野である構成比・増減率・指数・特殊なグラフに関わる分野の問題演習をおこなう。1 次試験を突破するために、公務員試験特有の 5 択による選択式の問題を解答するコツを伝授する。自ら演習を重ね、自己研鑽能力を身につけてもらいたい。

[履修に必要なこと]

自ら演習問題に取り組み、根拠に基づいて解答することを意識すること。

[成績評価方法]

期末試験・小テストにおいて評価する。

[教科書]

公務員地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 判断推理・資料解釈 TAC 刊

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	資料解釈の基礎	問題演習・解説
第 2 回	〃	問題演習・解説
第 3 回	構成比	問題演習・解説
第 4 回	〃	問題演習・解説
第 5 回	〃	問題演習・解説
第 6 回	〃	問題演習・解説
第 7 回	増減率	問題演習・解説
第 8 回	〃	問題演習・解説
第 9 回	〃	問題演習・解説
第 10 回	〃	問題演習・解説
第 11 回	指数	問題演習・解説
第 12 回	〃	問題演習・解説
第 13 回	〃	問題演習・解説
第 14 回	特殊なグラフ	問題演習・解説
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	体力試験演習 I	担当教師名	三谷 直人
	Exercises in Physical Strength Test I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

主として警察官や消防士などの公安系公務員の採用に関し、課される体力試験のさまざまな種目を反復練習し、基礎体力の養成と、筋力の向上を図り、合格を目指す。

[履修に必要なこと]

運動しやすい服装

[成績評価方法]

各項目の測定結果を評価する。また全体的な総合評価によって行う。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	はじめに	授業の進め方
第 2 回	各種目の理解	マシンの利用方法など
第 3 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	測定	各種試験項目の中間測定
第 8 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 9 回	〃	〃
第 1 0 回	〃	〃
第 1 1 回	〃	〃
第 1 2 回	〃	〃
第 1 3 回	〃	〃
第 1 4 回	〃	〃
第 1 5 回	測定	各種試験項目の最終測定

教 科 目 名	体力試験演習Ⅱ	担当教師名	三谷 直人
	Exercises in Physical Strength Test II	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員1年制学科・1年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

主として警察官や消防士などの公安系公務員の採用に関し、課される体力試験のさまざまな種目を反復練習し、基礎体力の養成と、筋力の向上を図り、合格を目指す。

[履修に必要なこと]

運動しやすい服装

[成績評価方法]

各項目の測定結果を評価する。また全体的な総合評価によって行う。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	はじめに	授業の進め方
第 2 回	各種目の理解	マシンの利用方法など
第 3 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	測定	各種試験項目の中間測定
第 8 回	筋力トレーニング	マシン利用と測定値の記録
第 9 回	〃	〃
第 1 0 回	〃	〃
第 1 1 回	〃	〃
第 1 2 回	〃	〃
第 1 3 回	〃	〃
第 1 4 回	〃	〃
第 1 5 回	測定	各種試験項目の最終測定

教 科 目 名	公務員試験対策 I	担当教師名	小川 富永 仙名 坂井
	Preparation for the Civil Examination I	方法・必選	講義・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	2 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

役所・役場・国家一般職・北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	過去問演習	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	期末試験	

教科目名	公務員試験対策Ⅱ	担当教師名	小川 富永 仙名 坂井
	Preparation for the Civil Examination II	方法・必選	講義・選択
科・年・期	公務員1年制学科・1年・後期	単位・時間	2単位・30時間

[授業の目的・方針]

役所・役場・国家一般職・北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。

[履修に必要なこと]

復習を欠かさず行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	過去問演習	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	公務員試験対策演習 I	担当教師名	小川 富永 仙名 坂井
	Civil Examination Seminar I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

役所・役場・国家一般職・北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。公務員一般職は、特に正確性と対人折衝能力が求められるため、ゼミ形式の授業で互いに意見を出し合いながら問題演習をする。

[履修に必要なこと]

自分の意見を発表するだけでなく、他の人の意見をよく聞くこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	過去問演習	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	公務員試験対策演習Ⅱ	担当教師名	小川 富永 仙名 坂井
	Civil Examination Seminar II	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員1年制学科・1年・後期	単位・時間	0.5単位・15時間

[授業の目的・方針]

役所・役場・国家一般職・北海道一般行政職の合格に必要な教科・科目を補完し、試験本番での高得点を目指す。同じ職種を目指す学生の集団で競い合い、成長し合うことで、協調性を育むこともねらいとする。公務員一般職は、特に正確性と対人折衝能力が求められるため、ゼミ形式の授業で互いに意見を出し合いながら問題演習をする。

[履修に必要なこと]

自分の意見を発表するだけでなく、他の人の意見をよく聞くこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜問題を配布する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	過去問演習	模試・過去問などを中心に演習
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10回	〃	〃
第 11回	〃	〃
第 12回	〃	〃
第 13回	〃	〃
第 14回	〃	〃
第 15回	期末試験	

教 科 目 名	自己表現 I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Exercises in Self-Expression I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	2 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

自己表現の方法や技術を学び、自分の個性を他者に上手く伝えられることを目標とする。  
2 次試験で多く行われる面接対策が主眼だが、国民・市民の皆様に誤解を与えず正しく情報を伝達するスキルを身につけ公務員として活躍することも視野に入れる。

[履修に必要なこと]

真摯に自己分析と業界研究を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

[参考書]

必要に応じ新聞記事などの資料を配付する。

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	自己PR	長所・短所を踏まえ、具体例を挙げる
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	志望動機	自己PRと関連させ、「自分」の話を書く
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	期末試験	



教 科 目 名	自己表現演習 I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Self-Expression Seminar I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

自己表現の方法や技術を学び、自分の個性を他者に上手く伝えられることを目標とする。  
 2 次試験で多く行われる面接対策が主眼だが、国民・市民の皆様に誤解を与えず正しく情報を伝達するスキルを身につけ公務員として活躍することも視野に入れる。ゼミ形式で互いに意見を述べ合い、建設的な意見交換を理解する。

[履修に必要なこと]

真摯に自己分析と業界研究を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

適宜プリントを配付する。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	自己PR	長所・短所を踏まえ、具体例を挙げる
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	志望動機	自己PRと関連させ、「自分」の話を書く
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	期末試験	

教 科 目 名	適性演習 I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Excercises in Aptitude Test I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

公務員適性試験の解法を習得する。この練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得する。また、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。これにより、公務員試験の二大科目の一つである適性試験の分析と対策を継続的に行う。

[履修に必要なこと]

練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得し、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。したがって、各自が、この練習・実習を通して、より積極的にそれらの技術を習得・蓄積することが必要になる。

[成績評価方法]

模擬試験の各結果を評価後、全体的な総合評価をする。

[教科書]

模擬試験による適性試験を使用。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	適性試験	1 回から 30 回の適性試験を行う。
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	〃	〃

教 科 目 名	適性演習Ⅱ	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Excercises in Aptitude Test II	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

公務員適性試験の解法を習得する。この練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得する。また、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。これにより、公務員試験の二大科目の一つである適性試験の分析と対策を継続的に行う。

[履修に必要なこと]

練習・実習を通して、適性解法の基本的技術・効率的処理技術を習得し、グラフ化から自分の努力結果・全体における自分の位置づけを理解し、そこから刺激を受けて、更なる確かな技術の定着をはかる。したがって、各自が、この練習・実習を通して、より積極的にそれらの技術を習得・蓄積することが必要になる。

[成績評価方法]

模擬試験の各結果を評価後、全体的な総合評価をする。

[教科書]

模擬試験の適性試験を使用。

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	適性試験	31 回から 60 回の適性試験を行う。
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	〃	〃
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 10 回	〃	〃
第 11 回	〃	〃
第 12 回	〃	〃
第 13 回	〃	〃
第 14 回	〃	〃
第 15 回	〃	〃

教 科 目 名	模擬試験 A	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Practices on the Examination A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

1 次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、復習を促し弱点克服をさせることで、進路実現のために活用させる。

[履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

公務員模擬試験(基礎能力試験) TAC

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	総合模擬試験	第 10 回公務員模擬試験
第 2 回	〃	第 11 回公務員模擬試験
第 3 回	〃	第 12 回公務員模擬試験
第 4 回	〃	第 13 回公務員模擬試験
第 5 回	〃	第 14 回公務員模擬試験
第 6 回	〃	第 15 回公務員模擬試験
第 7 回	〃	第 16 回公務員模擬試験
第 8 回	〃	第 17 回公務員模擬試験
第 9 回	〃	第 18 回公務員模擬試験
第 1 0 回	〃	第 19 回公務員模擬試験
第 1 1 回	〃	第 20 回公務員模擬試験
第 1 2 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 3 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 4 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 5 回	〃	公務員模擬試験過去問題

教 科 目 名	模擬試験ゼミ A	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Practices on the Examination Seminar A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

模擬試験解答後に、自己採点をし間違った問題の見直しをおこなう。弱点の克服をするために、学生間で教えあい議論することで、問題に対する論理的思考力を育成させる。

[履修に必要なこと]

間違った問題を学生間で議論し、教え合うことで、弱点や知らなかった解法を理解し、使いこなせる知識にすること。

[成績評価方法]

レポート提出において評価する。

[教科書]

公務員模擬試験(基礎能力試験) TAC

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	総合模擬試験	第 10 回公務員模擬試験
第 2 回	〃	第 11 回公務員模擬試験
第 3 回	〃	第 12 回公務員模擬試験
第 4 回	〃	第 13 回公務員模擬試験
第 5 回	〃	第 14 回公務員模擬試験
第 6 回	〃	第 15 回公務員模擬試験
第 7 回	〃	第 16 回公務員模擬試験
第 8 回	〃	第 17 回公務員模擬試験
第 9 回	〃	第 18 回公務員模擬試験
第 10 回	〃	第 19 回公務員模擬試験
第 11 回	〃	第 20 回公務員模擬試験
第 12 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 13 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 14 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 15 回	〃	公務員模擬試験過去問題

教 科 目 名	総合模試演習 I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Practices on the Examination I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・前期	単位・時間	0.5 単位・15 時間

[授業の目的・方針]

1 次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、全国順位や志望先の合格可能性などを参考にさせ、進路実現のために活用させる。

[履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

公務員模擬試験(高卒者) 実務教育出版  
公務員模擬試験(基礎能力試験) TAC

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	総合模擬試験	第 1 回公務員模擬試験(全国模試)
第 2 回	〃	第 2 回公務員模擬試験(全国模試)
第 3 回	〃	第 3 回公務員模擬試験(全国模試)
第 4 回	〃	第 4 回公務員模擬試験(全国模試)
第 5 回	〃	第 5 回公務員模擬試験(全国模試)
第 6 回	〃	第 6 回公務員模擬試験(全国模試)
第 7 回	〃	第 1 回公務員模擬試験
第 8 回	〃	第 2 回公務員模擬試験
第 9 回	〃	第 3 回公務員模擬試験
第 1 0 回	〃	第 4 回公務員模擬試験
第 1 1 回	〃	第 5 回公務員模擬試験
第 1 2 回	〃	第 6 回公務員模擬試験
第 1 3 回	〃	第 7 回公務員模擬試験
第 1 4 回	〃	第 8 回公務員模擬試験
第 1 5 回	〃	第 9 回公務員模擬試験

教 科 目 名	総合模試演習Ⅱ	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Practices on the Examination II	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員1年制学科・1年・後期	単位・時間	0.5単位・15時間

[授業の目的・方針]

1 次試験を突破させるために、公務員試験を想定した模擬試験を通じて、学力の定着度や自分の弱点を発見させる。また、復習を促し弱点克服をさせることで、進路実現のために活用させる。

[履修に必要なこと]

模擬試験を受けっぱなしにせず、復習を翌週に残さず間違った問題を復習し克服することが重要である。

[成績評価方法]

模擬試験の得点において評価する。

[教科書]

公務員模擬試験(基礎能力試験) TAC

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	総合模擬試験	公務員模擬試験過去問題
第 2 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 3 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 4 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 5 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 6 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 7 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 8 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 9 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 0 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 1 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 2 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 3 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 4 回	〃	公務員模擬試験過去問題
第 1 5 回	〃	公務員模擬試験過去問題

教 科 目 名	面接対策 A	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Preparation for the Interview A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

難関の面接試験に合格するために、基本動作の習得から、心に訴える受け答えまでを徹底的に訓練する。他の教科や課外活動の集大成であり、また、今までの人生を振り返り、新たな世界へ踏み出すための重要な意味合いを持つ。単に公務員試験合格のためと捉えず、自分の人生の節目に何を考えどう行動すべきかを改めて考える機会にして欲しい。

[履修に必要なこと]

真摯に自己分析・自己反省を行なうこと。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	面接対策 レクチャー	基本動作の確認
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	面接練習	受け答えの練習
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 1 0 回	〃	〃
第 1 1 回	〃	〃
第 1 2 回	〃	〃
第 1 3 回	〃	〃
第 1 4 回	〃	〃
第 1 5 回	期末試験	



教 科 目 名	面接対策ゼミ A	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Interview Seminar A	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

難関の面接試験に合格するために、基本動作の習得から、心に訴える受け答えまでを徹底的に訓練する。他の教科や課外活動の集大成であり、また、今までの人生を振り返り、新たな世界へ踏み出すための重要な意味合いを持つ。単に公務員試験合格のためと捉えず、自分の人生の節目に何を考えどう行動すべきかを改めて考える機会にして欲しい。グループで課題点や良い点を述べ合い、互いに成長していくことを目標にする。

[履修に必要なこと]

他の人の意見を聞き入れ、改善すること。

[成績評価方法]

期末試験により評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	面接対策レクチャー	基本動作の確認
第 2 回	〃	〃
第 3 回	〃	〃
第 4 回	〃	〃
第 5 回	〃	〃
第 6 回	面接練習	受け答えの練習
第 7 回	〃	〃
第 8 回	〃	〃
第 9 回	〃	〃
第 1 0 回	〃	〃
第 1 1 回	〃	〃
第 1 2 回	〃	〃
第 1 3 回	〃	〃
第 1 4 回	〃	〃
第 1 5 回	期末試験	

教 科 目 名	文書業務	担当教師名	小川 昌宏
	Document Business	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員1年制学科・1年・前期	単位・時間	1単位・15時間

[授業の目的・方針]

様々な文書の書き方を学び課題達成することを通して、公務員に必要とされる事務処理能力のうち特に正確さや完遂力を養うことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	ビジネス文書	基本様式
第 3 回	〃	敬称のつけ方
第 4 回	〃	頭語と結語
第 5 回	〃	時候の挨拶
第 6 回	〃	あいさつ
第 7 回	〃	末文
第 8 回	〃	手紙独特の用語
第 9 回	〃	宛名の書き方
第 10 回	お礼状	お礼状の基本構成
第 11 回	〃	企業訪問の礼状
第 12 回	〃	内定通知に対する礼状
第 13 回	自己PR文	自己分析
第 14 回	〃	800文字
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教科目名	パソコン演習 I	担当教師名	小川 坂井
	Personal Computer Practice I	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

公務員としての事務処理における正確さ・責任感・完遂力を身に付ける為に、パソコンの基本操作から、仕事で必須の技術となる表計算までについて、その概要を理解し与えられた基本的な課題を作成できるようにする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・期末試験などを総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	OS の基本操作 1	マウスの操作 キーボードの操作
第 2 回	OS の基本操作 2	コントロールパネルの操作
第 3 回	OS の基本操作 3	ホルダーの作成 ファイルの複写・移動
第 4 回	プレゼンテーションソフト の基本操作	文字入力 背景画像設定 スライド作成
第 5 回		文字装飾 画像貼付け アニメーション効果
第 6 回	プレゼンテーションソフト での作品作成	企画 準備 構成の基本と要点
第 7 回		効果を出すための要素 発表者の注意
第 8 回	総合課題	レポートの作成と提出
第 9 回	表計算ソフトの基本操作	表計算ソフトの基本的な考え方
第 10 回	表計算ソフトの計算	計算式の書き方 計算式の複写と移動
第 11 回	表計算ソフトの書式と罫線	表を見易くするためのテクニック
第 12 回	表計算ソフトの関数	Sum Min If Vlookup Count などの関数
第 13 回	表計算ソフトのグラフ	表現技法
第 14 回	表計算ソフトの検索機能	データベースとしての操作
第 15 回	総合課題	レポートの作成と提出

教 科 目 名	MOS 演習	担当教師名	富永 史人
	Preparation for Microsoft Office Specialist	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

Microsoft Office Specialist の Word/Excel 資格取得のための演習です。この授業では公務員事務職に就くにあたり正確さ・責任感・完遂力・忍耐力を身につけることを目標にする。

[履修に必要なこと]

教科書に従い、Word と Excel について、様々なテクニックをきちんと正確に習得していくこと。総合問題でポイントを確認し、模擬試験で合格レベルまで繰り返し練習する。

[成績評価方法]

模擬試験の結果により評価する。

[教科書]

よくわかるマスター Microsoft Office Specialist 対策テキスト&問題集  
Word 2016/Excel 2016 FOM 出版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	インストール・授業の進め方
第 2 回	第 1 章	文章作成と管理/ワークシートの作成
第 3 回	第 2 章	文字・段落・セクション/データの管理
第 4 回	第 3 章	表やリストの作成/テーブルの作成
第 5 回	第 4 章	参考資料の作成と管理/演算の実行
第 6 回	第 5 章	グラフィック要素の挿入/グラフの作成
第 7 回	総復習	模擬試験にむけての準備
第 8 回	総復習	模擬試験にむけての準備
第 9 回	総復習	弱点強化
第 1 0 回	模擬試験	第 1 回模擬試験
第 1 1 回	模擬試験	第 2 回模擬試験
第 1 2 回	模擬試験	第 3 回模擬試験
第 1 3 回	模擬試験	第 4 回模擬試験
第 1 4 回	模擬試験	第 5 回模擬試験
第 1 5 回	模擬試験	総復習

教科目名	日商PC演習	担当教師名	坂井 済
	Preparation for JCCI PC Proficiency Examination	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員1年制学科・1年・後期	単位・時間	1単位・30時間

[授業の目的・方針]

日本商工会議所主催の日商PC検定(文書作成)3級に合格できる能力を身につける。ビジネスにおける日本語の知識を習得し、主に Word での文書作成能力を磨き、社会人の基礎的能力を涵養するとともに、事務処理における正確性を育む。

[履修に必要なこと]

毎回の授業に教科書を持参すること。

[成績評価方法]

模擬試験の結果により評価する。

[教科書]

日商PC検定試験 文書作成 FOM 出版

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項目	内容
第1回	コンピュータの基礎／基本操作	知識編：用語、コンピュータの基礎 実技編：基本操作
第2回	コンピュータの基礎／簡条書き	実技編：簡条書きの操作、応用力を付けるための練習問題
第3回	ワープロソフトと表計算ソフト／表の作成と編集	知識編：用語、ワープロと表計算 実技編：セルの大きさと追加削除、罫線の引き方
第4回	ワープロソフトと表計算ソフト／表の作成と編集	実技編：列、行の入れ替え、表の分割・結合
第5回	ネットワーク関連／図形の挿入	知識編：用語、ネットワーク関連について 実技編：図形の拡大縮小、配置の調整
第6回	ネットワーク関連／その他の機能	実技編：挨拶文の挿入その他の機能
第7回	ITとビジネス関連	知識編：ITビジネス関連の用語 実技編：練習問題に取り組み、技術を習得する
第8回	ITとビジネス関連	実技編：練習問題に取り組み、技術を習得する
第9回	ビジネス文書作成の知識	知識編：ビジネス文書としての体裁
第10回	日本語、文法の知識	知識編：ビジネス文書の作成に必要な文法事項
第11回	模擬試験1	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第12回	模擬試験2	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第13回	模擬試験3	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第14回	模擬試験4	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ
第15回	模擬試験5	模擬試験の繰り返し学習、点数の取り方を学ぶ

教 科 目 名	まちづくり計画	担当教師名	小川 昌宏
	City Planning	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員1年制学科・1年・前期	単位・時間	2単位・30時間

[授業の目的・方針]

前半は人づくりに重点を置き、後半は本学が設置されている登別市の諸問題をテーマに資料分析し最終的に実現の可能性の高い政策提言書としてまとめることで、まちづくりへの主体性を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：□

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	ヒューマンスキル	何のために学ぶのか
第 3 回	〃	「感謝」ワークショップ
第 4 回	〃	道徳について
第 5 回	〃	昔ばなしから学ぶ
第 6 回	〃	ナショナリズムとグローバリズム
第 7 回	政策提言への道	全国大学政策フォーラムについて
第 8 回	〃	「テーマ」の確認
第 9 回	〃	情報収集（持ち札の整理）
第 10 回	〃	仮説を立てる（やれることと効果の整理）
第 11 回	〃	障壁（実施するうえでの問題点の整理）
第 12 回	〃	解決策（障壁を取り除く方策の整理）
第 13 回	〃	プレゼンテーション資料作成
第 14 回	〃	発表会
第 15 回	レポート提出	レポート提出

教 科 目 名	行政研究 I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Administrative Research I	方法・必選	講義・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	4 単位・60 時間

[授業の目的・方針]

行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響を研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、社会で生活する一員としての責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	行政研究課題① 「郷土研究」	各々の出身地をテーマにそこが抱える問題や地域で行われている活動などを分析研究する
第 3 回		
第 4 回		
第 5 回	行政研究課題② 「北海道研究」	北海道が抱える問題や行われている施策などを分析研究する
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回	行政研究課題③ 「登別市研究 I」	1 年間在校生として住み暮らした視点で登別市の抱える問題や行われている施策・活動などを研究する
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回	レポート提出	レポート提出
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回		

教 科 目 名	行政研究ゼミ I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Administrative Research Seminar I	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	1 単位・30 時間

[授業の目的・方針]

行政研究 I で学んだ知識を基に、行政や市民団体など、それぞれの活動や関わり合いを分析し、市民に及ぼす影響をグループ単位で研究することで、「人助け」や「まちづくり」というものを各々が落とし込み、社会で生活する一員としての責任感を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	行政研究課題① 「郷土研究」	各々の出身地をテーマにそこが抱える問題や地域で行われている活動などを分析研究する
第 3 回		
第 4 回		
第 5 回	行政研究課題② 「北海道研究」	北海道が抱える問題や行われている施策などを分析研究する
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回	行政研究課題③ 「登別市研究 I」	1 年間在校生として住み暮らした視点で登別市の抱える問題や行われている施策・活動などを研究する
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回	レポート提出	レポート提出
第 13 回		
第 14 回		
第 15 回		



教 科 目 名	総合演習 I	担当教師名	富永 仙名 坂井
	General Seminar I	方法・必選	演習・必修
科・年・期	公務員 1 年制学科・1 年・後期	単位・時間	3 単位・90 時間

[授業の目的・方針]

公務員としてしっかりと活躍していける人材育成の為に、ある者はグループ学習で公務員試験を自作資料化し、ある者は公務員試験突破に向けて問題の演習を通して、それぞれ事務処理能力・仕事の正確さ・法律力・忍耐力・責任感・完遂力・コミュニケーション能力を育むことを目標とする。

[履修に必要なこと]

[成績評価方法]

課題提出・レポート提出など総合的に判断し評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方等の説明
第 2 回	総合演習① 教科書・問題集の 振り返り	過去の演習問題を中心に演習 グループ学習及び資料化
第 3 回		
第 4 回		
第 5 回	総合演習② 国家公務員試験の 演習及び分析	国家公務員試験の過去問題を中心に演習 グループ学習及び資料化
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回	総合演習③ 様々な演習を基に 自作問題を作成	過去の模試・過去問・実問等を演習 グループ学習にて問題自作及び資料化
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回	レポート提出	レポート提出
第 15 回		

教 科 目 名	インターンシップ	担当教師名	富永 仙名 坂井
	Internship	方法・必選	演習・選択
科・年・期	公務員1年制学科・1年・後期	単位・時間	0.5単位・15時間

[授業の目的・方針]

実際の職場での業務を行うことで、日頃学んで来た内容をどのように生かして行くのかを考えるきっかけにし、具体的なイメージを持って、公務員として活躍するために何が必要かを自ら考え自己研鑽することを目的とする。

[履修に必要なこと]

社会人としてのマナーを身につけていること。

[成績評価方法]

受け入れ先の評価・レポート等で評価する。

[教科書]

[参考書]

[実務経験・教育内容]

\*実務経験のある教員による授業科目：

[授業計画]

回	項 目	内 容
第 1 回	ガイダンス	スケジュールの確認等
第 2 回	概要説明	実習先の概要について調査します
第 3 回	心構え	実習先での行動の注意点について学習します
第 4 回	インターンシップ	職場で実習をします
第 5 回		
第 6 回		
第 7 回		
第 8 回		
第 9 回		
第 10 回		
第 11 回		
第 12 回		
第 13 回		
第 14 回	報告会準備	報告の準備を行います
第 15 回	報告会	報告会を行います